



株式会社ロゼッタ

成長可能性に関する説明資料

株式会社ロゼッタ
(東証マザーズ：6182)



2015年11月



本資料の取扱いについて

- 本資料は、株式会社ロゼッタの事業及び業界動向に加えて、株式会社ロゼッタによる現在の予定、推定、見込みまたは予想に基づいた将来の展望についても言及しています。
- これらの将来の展望に関する表明は、様々なリスクや不確実性が内在します。
- すでに知られたもしくは知られていないリスク、不確実性、その他の要因が、将来の展望に関する表明に含まれる内容と異なる結果を引き起こす可能性がございます。
- 株式会社ロゼッタは、将来の展望に対する表明、予想が正しいと約束することはできず、結果は将来の展望と著しく異なることもありえます。
- 本資料における将来の展望に関する表明は、2015年11月19日現在において、利用可能な情報に基づいて、株式会社ロゼッタによりなされたものであり、将来の出来事や状況を反映して、将来の展望に関するいかなる表明の記載をも更新し、変更するものではありません。



株式会社ロゼッタ

会社概要

- 会社概要
- 事業ポートフォリオ

企業ミッション

我が国を
言語的ハンディキャップの
呪縛から解放する

企業理念（グループ憲章）

3WIN（トリプルウィン）



基本情報（2015年2月期・同期末現在）

商号	株式会社ロゼッタ (Rozetta Corp.)		創業	2004年2月（翻訳サービスの創業 1998年8月）
代表者	代表取締役CEO 五石 順一		本社所在地	〒104-0045 東京都中央区築地3丁目5番4号
事業内容	自動翻訳事業、翻訳・通訳事業、 企業研修事業		事業所	東京本社/大阪オフィス
資本金 (連結)	85百万円		従業員数 (連結)	67名（外、平均臨時雇用者数21名）
業績 (連結)	売上高	14億 2百万円	株主	(株)ドリームインキュベータ、 日本アジア投資(株)、社員、他
	経常利益	1億31万円		

事業ポートフォリオ

株式会社ロゼッタ

MT事業 (2004年～)

- ・ AI（人工知能）型の機械翻訳（MT: Machine Translation）の研究開発
- ・ 営業利益 38,766 ⇒ 70,139
(単位：千円 / 前期実績⇒今期計画)

GLOZE事業 (2013年～)

- ・ 統計型翻訳支援ツールを活用した人間（翻訳者）による業務受託。人間翻訳から機械翻訳への過渡期的形態。
- ・ 営業利益 △12,344 ⇒ 11,782
(単位：千円 / 前期実績⇒今期計画)

将来性/成長性 高
R&D段階
集中的に投資

株式会社グローヴァ

翻訳・通訳事業 (1998年～)

- ・ 従来型の人間（翻訳者）による翻訳・通訳業務受託サービス
- ・ 営業利益 77,924 ⇒ 83,868
(単位：千円 / 前期実績⇒今期計画)

株式会社 海外放送センター

企業研修事業 (1978年～)

- ・ 企業向けの英語・中国語・多様性研修サービス
- ・ 営業利益 44,156 ⇒ 50,068
(単位：千円 / 前期実績⇒今期計画)

将来性/成長性 低
キャッシュカウ
安定収益源



株式会社ロゼッタ

企業ミッション

- ミッション
- 政府の「イノベーション25」

コンピューターによる翻訳能力が
飛躍的に向上し、
外国語学習は習字のように
時代遅れのマイナーな技能になる

「2050年の世界 英『エコノミスト』誌は予測する」より



**当社のミッションは、
「この予測を10年で現実にし、
日本を言語の呪縛から解放する」**

政府の「イノベーション25」でも2025年実現を目標に

ヘッドホンひとつであらゆる国の人とコミュニケーション

人工知能、音声認識技術の高度化等による高度自動翻訳機能を備えたヘッドホンで、日本語と外国語との壁がなくなり、あらゆる国の人とのコミュニケーションが大きく広がる。



実現のために必要な技術・システム

- 言語の同時翻訳機能が付加された電話の一般化
(2017年/2025年)
- インターネット上の自動言語翻訳機能の向上により、インターネット上の多言語にわたる情報を特定言語で容易に検索可能になり、必要な情報を瞬時に世界中から引き出すことのできる知識の体系的保存システム
(2010年/2015年)
- 音声入出力の身体装着型自動翻訳装置
(2013年/2020年)

出所 : <http://www.cao.go.jp/innovation/action/conference/minutes/20case.html>



株式会社ロゼッタ

市場の現状と将来見通し

- 市場の現状
- 市場の将来見通し

国内における翻訳通訳市場規模

2,577億円

(2015年度予測*)

- 市場は年率数%の緩やかな安定的拡大を続けている
- 市場の内訳は、ほぼ全てが人間（翻訳者・通訳者）による従来型の業務委託
- 自動翻訳の割合はわずかで、統計データは存在せず（感覚値で10億前後？）

最も重要な特性は、いまだ産業革命を経験していない業界であること。
現在は、職人による零細経営が乱立している家庭内手工業以前の状態。
（業界トップの会社でも3%程度のシェアに過ぎない）
典型的な労働集約型だから、利益率が低く、
規模の経済による寡占化も起こり得ない段階。

*出所：(株)矢野経済研究所「語学ビジネス市場に関する調査結果2015」による通訳・翻訳ビジネス市場の売上高推定



将来、自動翻訳の時代が来るまで徐々に機械化が進み
「労働集約型」から「テクノロジー集約型」へ
「零細乱立の村状態」⇒「寡占が起こる高度な産業化」

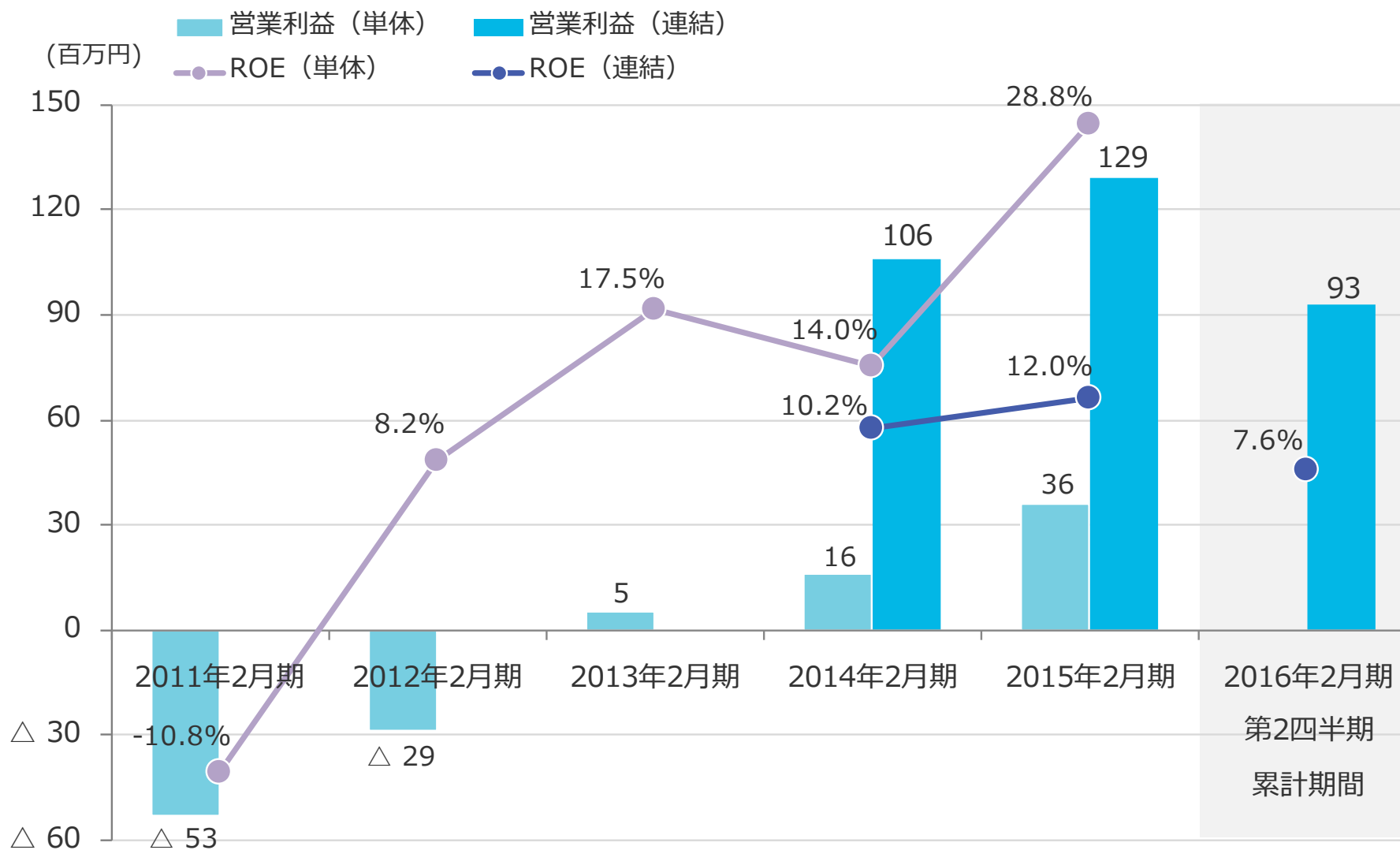


株式会社ロゼッタ

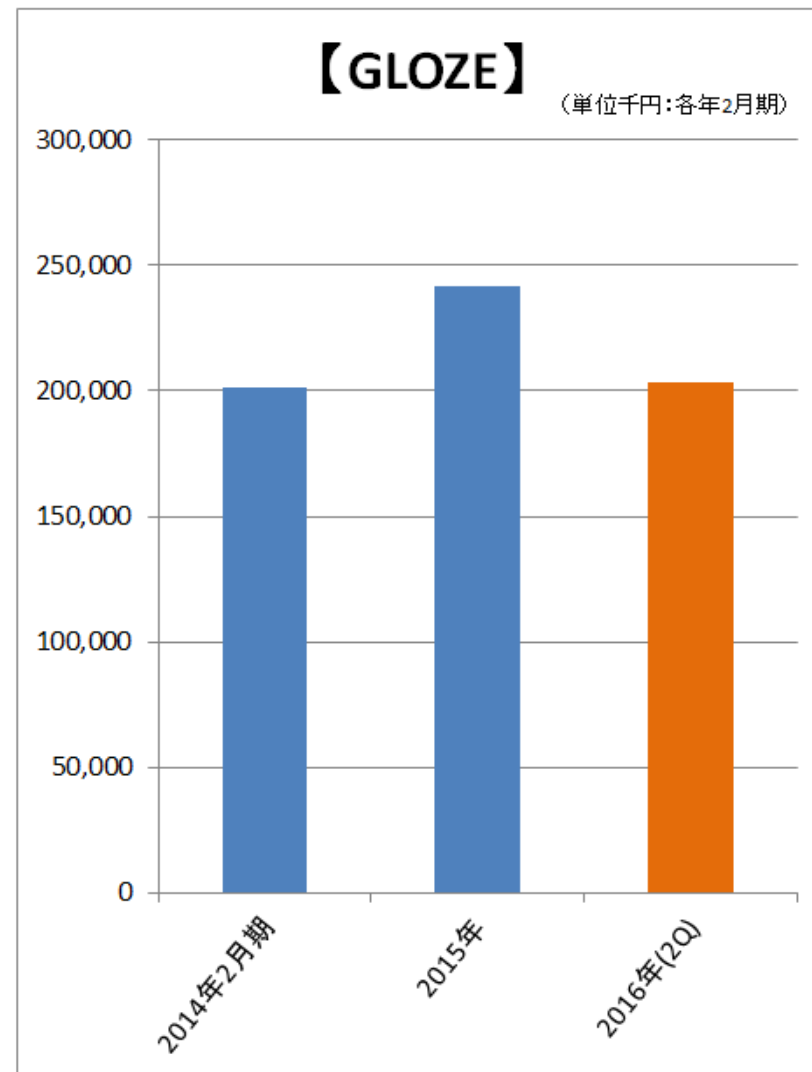
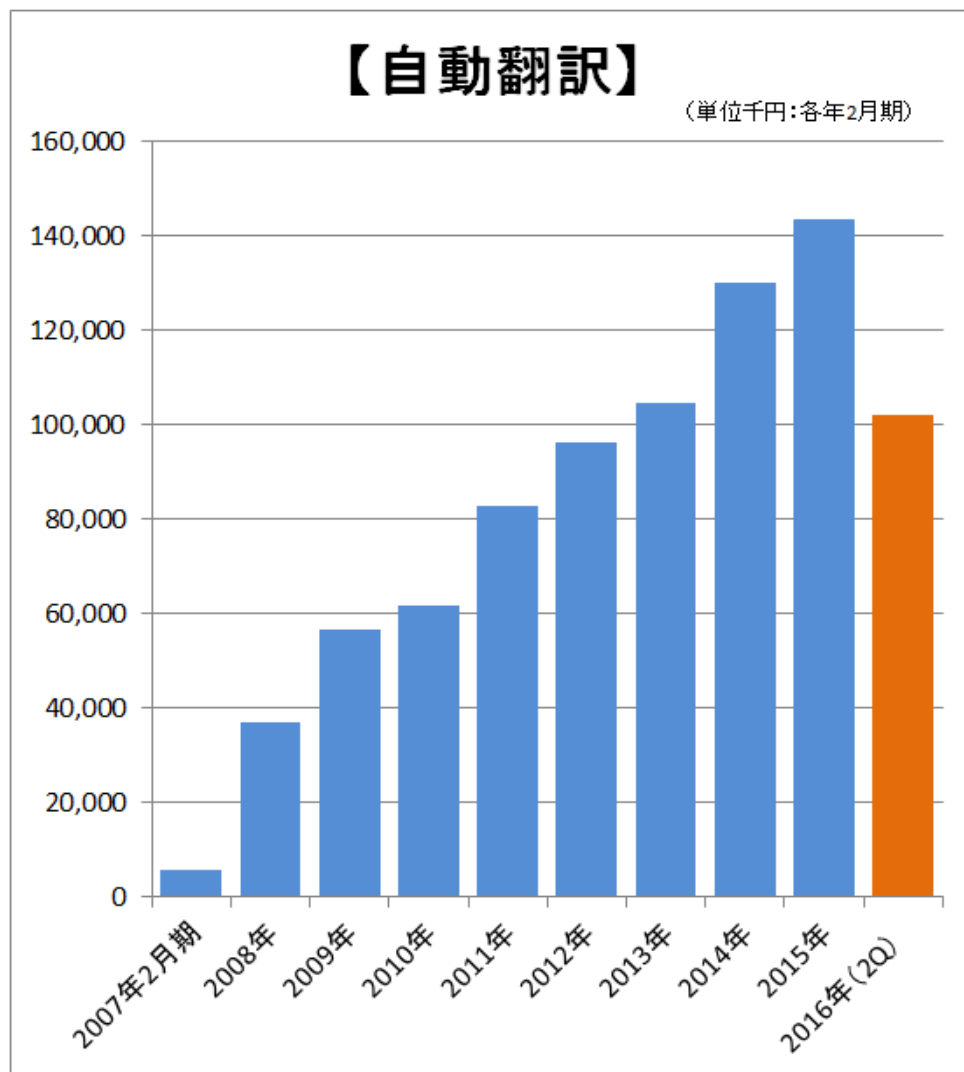
業績概要

- 業績推移
- MT事業・GLOZE事業の受注高推移

業績推移



MT事業・GLOZE事業の受注高推移



注)

- ・ 受注ベースでの売上推移（財務諸表上の売上ではない）。今期は、期中のQ（四半期）単位までの実績数値。
- ・ 【自動翻訳】は、SaaS『熟考』シリーズの受注売上のうち、初期費用と年間利用料のみに限定。（リライト・DTP等のオプション売上、リソースデータ販売等の売上を除く）
- ・ 【自動翻訳】【GLOZE】ともに、外部への販売数値のみ（グループ内部取引による売上を除く）。



株式会社ロゼッタ

成長戦略

- 翻訳 3 事業の中期推移（イメージ）
- 自動翻訳SaaSの進化
- T4PO完成形までに必要な技術
- T4PO完成形のイメージ

翻訳 3 事業の中期推移 (イメージ)



*出所：(株)矢野経済研究所「語学ビジネス市場に関する調査結果2015」による通訳・翻訳ビジネス市場の売上高推定

自動翻訳SaaSの進化

2006年

専門用語に強い！
考える自動翻訳機 **熟考**

インターネット上のビッグデータを統計解析するAI型自動翻訳

2012年

熟考Z

自動翻訳 + 統計型翻訳支援ツール機能

2015年

自動翻訳を2015種類の専門分野別に細分化

2016年（予定）

御社専用の自動翻訳
T-4PO
Translation machine For Private Only

ユーザー別のテイラーメイド自動翻訳

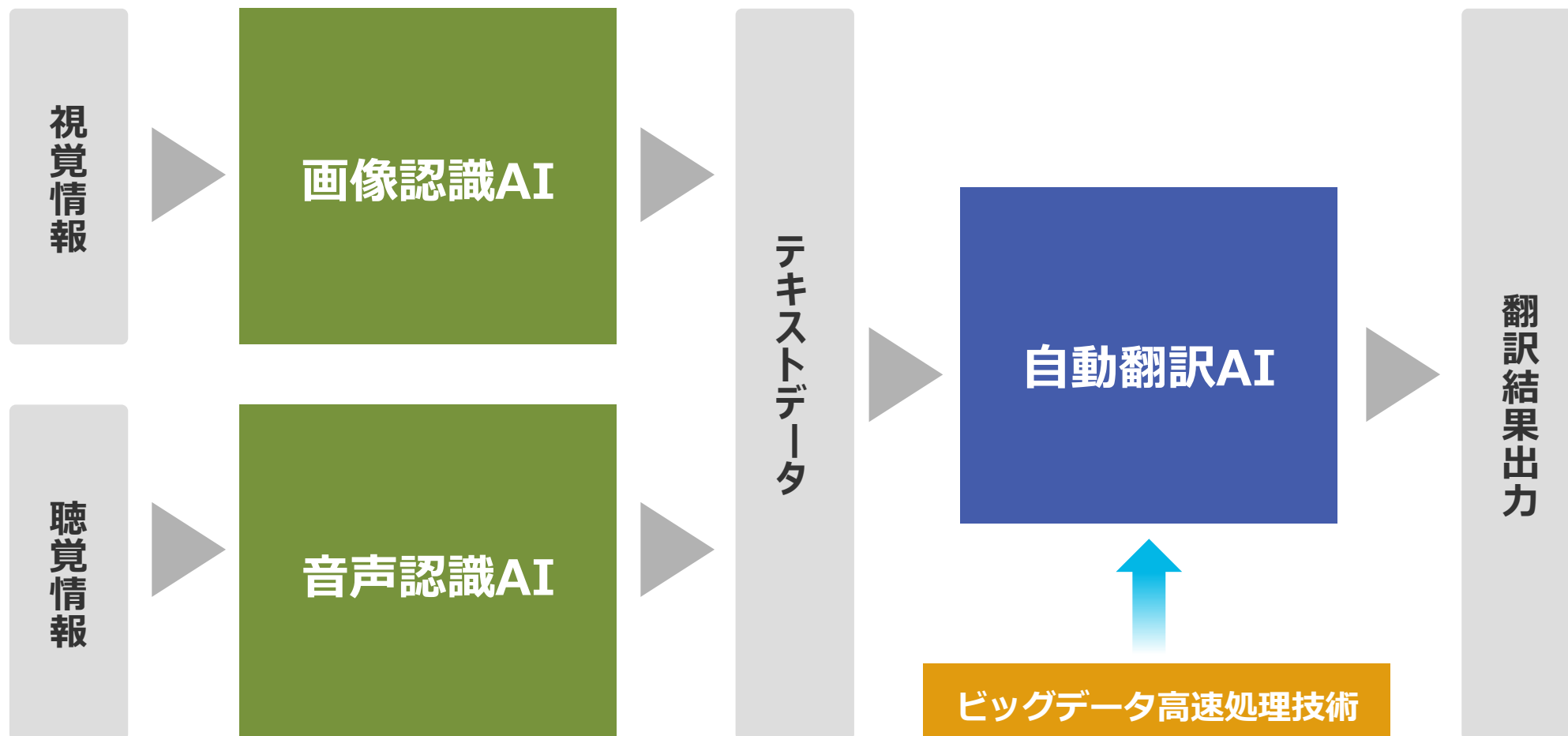
2025年（目標）

T-4PO (完成形)

訳文精度95%

画像認識、音声認識対応、ウェアラブル端末内蔵型

T4PO完成形までに必要な技術



* ここで必要となる画像認識は、人の目の視野に入る情景画像中の文字情報を抽出する技術。

画像認識



T-4PO

完成形イメージ



音声認識

左に曲がって、突き当りに
レストランがあります。

You turn to the left, there
is a restaurant on the end
of the road.

自動翻訳



株式会社ロゼッタ